

用語の解説

あ行

I o T

Internet of Thingsの略語。家電、自動車などさまざまなモノに通信機能を搭載して、インターネットに接続・連携させる技術のこと。

I C T

Information and Communication Technologyの略語。情報通信技術の意味を表し、インターネット等の通信とコンピューターとを駆使する情報技術のこと。

R P A

Robotic Process Automationの略語。パソコンの中にあるソフトウェア型のロボットが、デスクワーク(主に定型作業)を代行・自動化する概念のこと。

アウトリーチ

生活上の課題を抱えながらも自ら援助にアクセスできない個人や家族に対し、家庭や学校等への訪問支援、当事者が出向きやすい場所での相談会の開催、地域におけるニーズ発見の場や関係づくりなどにより、支援につながるよう積極的に働きかける取組のこと。

アクセス

接続、つながり。

インフラ

インフラストラクチャーの略語。産業や生活の基盤として整備される施設のこと。

A I

Artificial Intelligenceの略語。学習・推理・判断などの人間が行っている知的な作業をコンピューター上で人工的に実現する技術。一般的に人工知能と呼ばれている。

エンジンバラ産後うつ病質問票

1987年(昭和62年)に英国で開発された自己記入式の質問票で、産後うつ病のリスクを計る指標の一つとして国内外で最も広く使用されている。

S N S

Social Networking Serviceの略語。共通の趣味等を持つ人たちとの交流を目的としたインターネット上のサービスの総称のこと。投稿者(人や企業)がインターネット上に情報を掲載することにより、その内容に興味のある人が容易に情報を得ることができる。

N P O

Non Profit Organizationの略語。営利を目的とせず、社会貢献活動を行っているボランティア団体や市民活動団体などの民間非営利組織のこと。

オープンデータ

機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータで、人手を多くかけずにデータの二次利用を可能とするもの。